加盟団体協会代表者　各位

公益社団法人北海道ろうあ連盟

組織部長　橋本　由美

2021年度合同研修会に伴うハイブリッド形式研修について（問い合わせ）

地域の聴覚障害者の社会参加に向けた活動お疲れ様です。

毎年開催している合同研修会は、新型コロナウイルス感染が徐々に落ち着きを見せている中、ハイブリッド形式による研修を実施することとなりました。オンライン研修を行うには、必要備品（別紙参照）があればどこでも研修が可能になります。

こちらとしては、8カ所会場（札幌・小樽・函館・苫小牧・旭川・帯広・

釧路・北見）に集まっていただき、研修する形を想定しております。

自分の住んでいる地域で実施したい場合は、連盟事務局までに相談してください。オンライン研修に必要な備品の有無や会場にインターネット環境があるかどうか（ない場合はwifiルーターの貸し出しも検討します）をお知らせ下さい。

加盟団体協会にお願いがあります。毎年提出のご協力をお願いしている会員数のデータについて今回は北海道ろうあ連盟事務局と確認を進めているため、提出は不要ですが、以下2点、提出のご協力をよろしくお願いすると共に、資料化にするため、**10月25日（月）**までに公益社団法人北海道ろうあ連盟事務局まで

回答願います。

《提出依頼資料》

1．各協会定款及び規程（会員規程）

2．手話言語条例施行のある自治体で手話普及事業を実施している教材

※回答締め切り　**10月25日（月）**までお願いします。

所属協会

連絡担当者

1．会場について

　　1）会場名をお知らせ下さい

会場名

2）会場代の有無　　　有（￥　　　　　　　　）・　無

3）使用会場内にインターネット環境は　　　ある　・　ない

＊ある場合ネット回線を教えて下さい

（　光ファイバー　・　ADSL　・　WiMAX　・Wi-fi　）

2．必要備品について

1）プロジェクター　　あり ・ なし

2）パソコン　　　　　あり ・ なし

3）スクリーン　　　　あり ・ なし

4）ビデオカメラ　　　あり ・ なし

＊テスト日含め、Ｚｏｏｍ入室（参加）するためのID、パスワードを伝える担当者の連絡先

　を教えて下さい。

担当者名

メールアドレス

FAX番号

公益社団法人北海道ろうあ連盟事務局

FAX：011－281-1289

E-mail：[hokkaido@hokurouren.jp](mailto:hokkaido@hokurouren.jp)

**○必要設備**

1．プロジェクター

＊ルーメンの鮮度（明るさ）＊ルーメンの鮮度は説明書に記載もしくはネットで検索すれば

出てきます。

＊100人収容の会場は、5,000以上のルーメンであることが望ましいが、50人以下の

　部屋の場合、3,000～5,000ルーメンでも可能。

2．パソコン（WindowsまたはMac）

3．スクリーン

4．Webカメラ（パソコン内蔵もしくは外付けいずれも可）

5．ビデオカメラ（ハンディカム可）＊三脚、 HDMI→USB変換アタプダー必須

＊パソコン直視の場合はビデオカメラ及びHDMI→USB変換アタプダーは不要です。

＊5人以上の場合、画面に映るサイズがパソコン内蔵カメラだけでは小さくなることから

　　ビデオカメラをつないだ方が広角に見ることが出来ます。

6．施設内にモジュラーがあれば有線。なければwifiルーターのいずれか。

7．机・椅子（ソーシャルディスタンスをとってください）









Wi－fiルーター

変換アタプダー

モジュラー

**○事前テスト及びzoom入室（参加）方法について**

1．研修前に事前のテストが必要な団体は予め連盟事務局まで連絡下さい。

2．入室（参加）方法はあらかじめ発信先（ホスト）からIDとパスワードをメールで

お知らせ致します。設定担当者のFAXまたはメールアドレスを教えてください。